

P4-01

院内がん登録研修会開催における新しい取り組みの報告



聖隷浜松病院 がん診療支援センター
鈴木 優佳、野末 美咲、手嶋 希久子、川崎 由実



はじめに

当院では院内がん登録の精度を高め、さらにはがん登録実務者の交流を目的として地域向けに院内がん登録実務者研修会を開催している。
コロナ感染症の影響で一時休会していたが2024年に再開した。再開にあたり、がん登録を広く知ってもらい、多職種が「がんの知識」を学ぶように研修内容と参加対象者を再考した。

方法

- 【開催】土曜午後 集合研修のみ
- 【講師】病理医であり、がん登録事業に精通している医師
- 【対象者】がん登録実務者(以下、実務者)および医療機関に勤務しているがんの知識を学びたい方
- 【内容】消化器がんについて(食道・胃・大腸・腹膜)

第1部：基礎編

病理診断報告書や画像診断報告書のみ方解剖学によるがんの拡がり各臓器で転移しやすい部位 など

第2部：院内がん登録実務者編

第1部内容における組織分類と病期分類事前質問に対する回答

【広報】院内)ポスターの掲示、院内システムなどを活用し全職員へ案内
院外)病院ホームページに掲載
静岡県内の病院に郵送およびメールにて案内
静岡県外(愛知県)やその他近隣地域で繋がりのある実務者へ案内

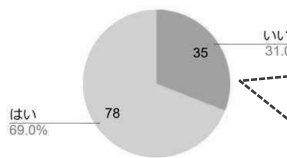
新たな取り組み

- ➡ ① 対象者
実務者以外も参加可能
- ➡ ② 構成
講義を2部構成
第2部は自由参加
- ➡ ③ 広報
対象者拡大に伴い院内・院外ともに広く案内

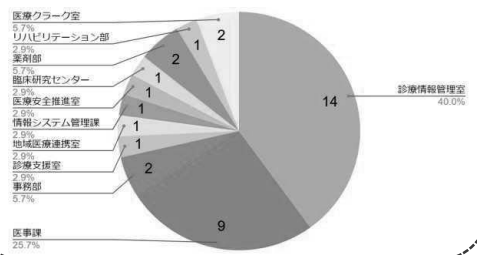
結果

【参加者】113名

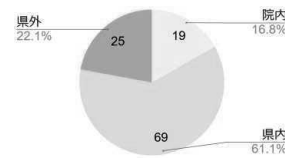
■がん登録実務を行っていますか？



■実務者以外の所属部署



■全参加者の所属施設

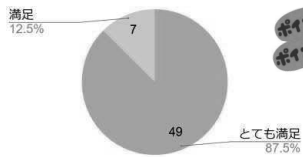


①実務者以外(多職種)の参加が35名あった

③過去最多の参加があった

【アンケート】回答数56

■満足度



■参加者からのコメント

<実務者以外>

- ・専門外の私でもわかりやすい内容で、大変勉強になった。
- ・がんの知識が身につく、今後の仕事に活かしていきたい。
- ・業務の中で参考になるお話ばかりでとてもためになった。また参加したい。
- ・長年理解出来なかったTNM分類等のカルテの記載内容が今回の講座でわかり、大変勉強になった。
- ・院内がん登録という仕事に尊敬と共に大変興味を持った。

<実務者>

- ・医師から直接解剖学について指導していただける機会が普段ないので、とても有意義な時間になった。
- ・講義前は少しハードルが高いイメージだったが、講義後は更に興味をもった。
- ・画像を各臓器の位置や血管の位置・血流が視覚を通して理解できた。
- ・解剖学から病期分類へと一連の流れの説明で理解が深まった。
- ・業務上メールでやりとりしていた方と直接挨拶ができてよかった。

②講義を2部構成にしたことは、実務者以外だけでなく実務者からも好評だった

考察

実務者以外の参加を可能にしたのは初めてであったが、研修内容の構成を基礎編と実務者編に明確にわけることで内容に興味を持ちやすく、参加者の幅を広げることが出来た。実務者以外では診療情報管理室や医事課所属の参加が多く、DPCなど日頃の業務でがんに関連する情報を目にする機会が多いためであり、また、医療技術職の参加がみられたのは、現場でがん患者と接するため病気に対する知識を深めたいからではないかと推測される。がんについて学ぶ機会を実務者以外にも提供することでがん登録を知ってもらうきっかけを作り、興味を持ってくれる人を増やしていくことは、次世代の実務者を育成するためにも重要であると考えられる。また、実務者にとっても多くの学びが得られるとともに交流の場としても有意義な研修会となった。今後もがんの知識を学ぶ場、実務者の育成、そして顔の見える関係の構築の場として、研修会の開催を続け、さらには新たな人材獲得に繋がれることを期待したい。

COIの開示

演題発表に際し、開示すべきCOIはありません。